

舟運活性化コンソーシアム TOKYO 2021 概要

ワクワクする水辺体験を創造

1. 舟運活性化コンソーシアム TOKYO 2021 とは

東京の舟運の分野で、多様な主体による連携協働により、いままでにない価値を創造することを目的とした、コンソーシアムです。

2. 設立の背景と目的

東京ではこれまでも様々な舟運活性化の活動があったが、行政にまかせきりではなく、民間や地域が連携して役割を担っていく活動が必要です。舟運活性化コンソーシアム TOKYO2021 は、水辺に関わる様々な主体が連携し、世界に自慢できるような、魅力的な水辺を目指して、ユーザー目線でイノベーションを起こしていくことを目的としています。

3. 会員について

当会の会員は当会の目的に賛同した個人または団体、企業等を対象とし、役員会の承諾を得て加入となります。また、当会の活動趣旨に賛同し、当会の事業の円滑な実施に協力しようとする方を、賛助会員としています。

4. 事務局推進体制

舟運活性化コンソーシアムは会員と会員によって信任された事務局によって推進されます。事務局は、会員各社の利益だけではなく、東京の舟運活性化を以下のポイントで実現するべく推進します。

理念

- ・ユーザー目線の舟運活性化
- ・フェアな水辺利用
- ・ビジョンドリブな舟運活性化
- ・実践的な舟運活性化
- ・創造的連携協働

事務局のクレド

- ・透明性が高い運営
- ・創造的なコミュニケーションを促すファシリテーション
- ・東京の水辺への奉仕
- ・結果を生む丁寧な運営
 - ・ビジョンに共鳴する活動
 - ・多様性への理解

5. 活動内容

(1) 情報発信

舟運活性化にむけて、ユーザーの行動変容を促す情報を発信します。

(2) 舟運の分野での連携協働のファシリテーション

地域、業界、立場に関係なく、実現するためのつながりをつくっていきます。

(3) 舟を活用した事業創出の伴走支援

面白いアイデアを、事業者様といっしょに次々と実現していきます。

6. TOKYO FUNECTION!について

舟運活性化コンソーシアム TOKYO2021 が掲げる 舟運活性化のソーシャルアクションを表す造語です。 船+アクション（活動） 船+コネクション（繋がり、連携） 船+アフェクション（愛情） 船+アトラクション（魅力） などをかけあわせ、未来の東京の水辺を魅力的にしていくための、連携の印です。

6. 団体概要

団体名	： 舟運活性化コンソーシアム 2021
設立年月日	： 2021/09/02
事務局代表	： 岩本唯史 (株式会社水辺総研代表取締役、「ミズベリング」ディレクター)
HP アドレス	： https://tokyofunction.com
FACEBOOK ページ	： https://www.facebook.com/TokyoFunection/
事務局人数	： 10 人

7. 主な活動実績 (2021/9/3 時点)

2021/2 舟運活性化コンソーシアム準備会設立

(以後、週一回の事務局定例を実施中)

2021/3 公募を経て、墨田区とのあいだで、小梅橋船着場を使用する契約書を締結

2021/3 アイデアブレストワークショップ (2 回)

2021/5 代表岩本が水都東京未来会議に参加

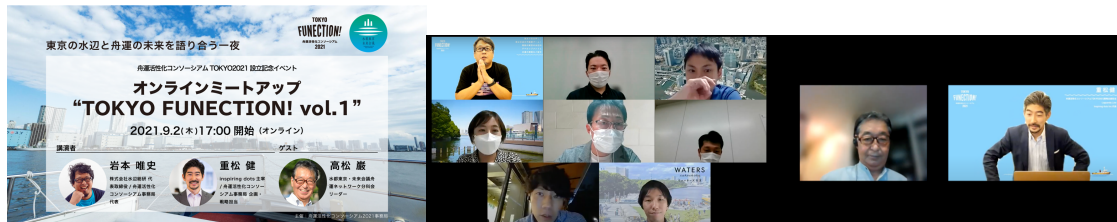
2021/7 海洋清掃エンタメ「プラボー！」を開催 (2 日間)

2021/9.2 オンラインミートアップ TOKYO FUNECTION VOL.1 開催

・活動実績抜粋

■オンラインミートアップ TOKYO FUNECTION VOL.1 開催

9月2日、舟運活性化コンソーシアム TOKYO2021 設立記念イベントとして、オンラインミートアップを開催（Facebook ライブにて一般向けに配信）。海外の水辺の動向や、デベロッパー各社による東京の最新水辺開発事例の紹介など、水辺の魅力創造に注目し、東京の水辺の未来について語り合った。



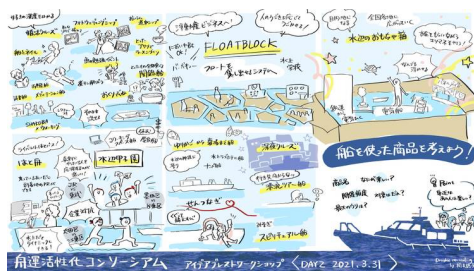
■海洋清掃エンタメ「プラボー！」

7月3・4日ウォーターズ竹芝にて、船上から河川や運河に浮かぶプラスチックゴミを拾う、清掃教育エンタメ「プラボー！」を開催。これは、本コンソーシアムのワークショップから生まれた企画で、当日は30組近い親子に参加、海洋プラスチック汚染やアップサイクルについて学んだ。



■アイデアブレストワークショップ

3月22日(ポートシティ竹芝)31日(waters 竹芝)に開催。この活動に協賛頂いた、各社・各機関・個人に参加。舟運商品づくりや水辺の魅力創出に貢献へのアイデアを共有した。いくつかのアイデアは、実施を目指し、現在プロジェクトが進行中。



(当日のグラフィックレコーディングとワークショップの様子)